（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人 ほしづきの里 放課後等デイサービス事業所　障害児活動支援センター

■ アンケート配布数　：　９通　　■ 実施期間　：　２０２４年１２月２日～１２月２７日

■ アンケート返信数　：　９通　　■ 公表日　：　２０２５年　３月　１１日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない・無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	2			・場合によって目が離せない児童に就いていないといけないが声掛けなどで対応している。	・送迎が重なった時など、たまに手薄な時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1				・荷物のロッカー（棚）について荷物管理がしにくい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1			・パーテーションで区切り落ち着いてもらう事がある。（2名）	・クールダウンできる個室が必要と感じる。パーテーションだと不十分。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		2		・パートなのでシフト上、参加した事は無いが設けられている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		2	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			2		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7			2	・支援日誌の記入ページの横に計画書があり、記入の際に常に見れるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2		1	・定例会で話し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	3		1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1			・打ち合わせではないが支援計画書や支援日誌（その日の利用児童の特記や注意事項）などを見て、職員とコミュニケーションを取ったり、起きた事を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		1	・打ち合わせではないが支援計画書や支援日誌（その日の利用児童の特記や注意事項）などを見て、職員とコミュニケーションを取ったり、起きた事を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9					
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			1	・ゲームばかりの児童は時間を決めてもらう対応をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		1	・学校へのお迎え時など先生と体調などの情報を聞くようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	4		3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	1	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			1	・送迎時にその日の様子や家庭でのお話しなど伝えたり聞くようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		1		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8			1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			1	・連絡アプリなどを活用している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4		1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9					
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9				・SNSの活用。写真などの記録を日々行っている。 ・毎月、通信を出したり、SNS（インスタ）などで様子を伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9					
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9					
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	1		・毎週、ボランティアの方が来てくれている。	・ボランティアの受け入れについて、もっと地域に周知しても良いと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2				・大規模災害への備えについてマニュアル不十分。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1				・職員のみで行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	1	1		・事業所では出来ていると思う。自分は分からない。 ・確認はしているが、もう少し発作等についての対応など知りたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			3	・食べ物ではないが、アレルギーがある児童には対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9					
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9					
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			1	・研修の機会を作っていただいている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			2		

（別紙４）

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人ほしづきの里 放課後等デイサービス事業所　障害児活動支援センター

■ アンケート配布数　：　４８通　　■ 実施期間　：　２０２４年１２月２日～２０２５年１月１５日

■ アンケート返信数　：　４３通　　■ 公表日　：　２０２５年　３月　１１日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない・無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42			1	・広々としていてバリアフリーで素晴らしいです。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	4	1	9	・対応いただいている職員の方の顔と名前がわからないので、顔写真などで紹介して欲しい。 ・送迎していただいた方の名前もわからないです。	今後、連絡アプリ等でご紹介していきたいと考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	4		5	・特段いい環境だと思っていますが、逆に心地よく過ごせる環境、空間にどのような点に配慮しているのか教えて頂けると嬉しい。 ・室内とベランダの活用の仕方が素敵です。 ・バリアフリーでしっかりした環境で安心できます。	ありがとうございます。２つある室内スペース、外のテラスを有効活用し、年齢もそうですが、身体や知的の特性や成長が様々な児童・生徒が利用されているので、その時の状況や、個々に合わせて静と動のゾーン分けをしたりしながら、過ごしていただけるように配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39	2		2	・トイレもしっかり区別されていて親としては安心です。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	5	1	3	・細やかに見ていただいてありがとうございます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	34	2		7	・気に留めて見ていないのでわかりません。	今年度からの制度改革で新たに「支援プログラムの公表」が義務化されました。HPにて公表をしていましたがお知らせ等をしていませんでした。連絡アプリの掲示板にも掲載いたしますのでご確認のほどよろしくお願いいたします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	4	1	1	・人によってバラツキが大きい	昨年度末に計画作成担当の児童発達支援管理責任者の変更がありました。また今年度の制度改革により個別支援計画の作成に当たり大幅な変更がありました。新たな担当、及び計画書式で混乱が無いよう進めてきたつもりでしたが、ご不満やご心配を与えてしまった事ご容赦ください。今後、より的確な計画作成と、また支援者間での支援の統一もしっかりと行っていきたいと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38	2	1	2	・面談時間15分は短すぎる（他のデイの半分以下）説明や時間に追われて、相談ができないので、モニタリング内容は不十分だと思うので、支援内容につながりにくいのでは。	面談時間についてご意見ありがとうございます。予め１５分と決めてしまった事で、お話やご相談がし辛い思いをさせてしまった事ご容赦ください。計画作成後も内容変更等できますので、ご意見を頂ければと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	2		4		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	10		5	・活動プログラムがわかりません。	日々の活動に関しては、本人の意思決定を大事に自分で決めた遊びをしていただいています。また、ひあたり通信で発信させていただいている、季節ごとのプログラム（夏の水遊び、冬のクリスマス制作、くじ引きなど）も企画して行っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	9	6	18	・特に必要と感じませんがあってもいいですね。	イレギュラーですが、長期休みなど時間がある時の、職員体制に余裕がある時に、近くの冒険あそび場へ行く事があります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	1		2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	6	1	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	32	6	1	4	・学校の先生とも情報の共有をしてくださってありがたいです。	学校へのお迎え時にその日のご本人の様子を聞いています。今後も継続していきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	3	2	5	・面談はしているが、支援計画を読み上げるのみで、面談をする意味があるのか分からない	面談についてご意見ありがとうございます。計画の説明が主になってしまい、お話やご相談がし辛い思いをさせてしまった事ご容赦ください。計画作成時以外には連絡アプリやメール等で情報共有をさせていただいていますが、面談時以外にも中間評価など定期的な意思疎通の場も考えていきたいです。また、日々の細かな情報共有についても、継続してご協力の程よろしくお願いいたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35		1	7		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	8	6	13	・兄弟がいないから分からない。 ・参加していないのでわかりません。	当センターを同時利用のご兄弟についての支援は行っていますが、それ以外のご兄弟への支援については出来ていないです。今後、どのようなことが出来るか考えて行きたいと思います。また、保護者会のような独立したものは設けられていませんが、保護者交流会を１０月に行いました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	6		4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	2	3	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	37	2		4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	2		6		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	2		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	3		9		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	35	4		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	5		9	・事故等の発生が今までにない。	怪我等の事故が発生した場合は、速やかに各ご家庭へ連絡し記録等を残す事をしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	41	1		1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	36	5		2	・いつも楽しそうな顔して帰ってくるので安心してお願いできています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	2	1	1		

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児活動支援センター			
○保護者評価実施期間	2024年　12月　2日		～	2025年　1月　15日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	48	（回答者数）	43
○従業者評価実施期間	2024年　12月　2日		～	2024年　12月　27日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　2月　28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	バリアフリーと広い空間	バリアフリーと床暖房などの設備を活かし、身体的な障害を持つ児童も、車椅子等を降り活動出来ている。 身体を動かせるプレイルームやテラス、静かに過ごせるサブプレイルームがあり、また広いスペースを有効に活用し、感覚過敏がある児童も、物理的に距離が取れるようゾーニング分けを行っている。	広さゆえの職員配置数が必要なので、利用者数やその児童の特性に合った配置が出来るよう、適切な職員配置や、配置の工夫を行ったりしていきたい。
2	家族との情報共有・発信	今年度から連絡アプリを導入し、今まで連絡帳（ノート）で行っていたやり取りを、アプリを使って行っている。今までノートをご用意されていなかったご家族に対しても、お伝えする必要がある時は、アプリ上で連絡が取れるようなった。 また、インスタグラムや従来の利用者向け通信で情報発信を行っている。	業務の効率化を図り、より細かな情報の発信や共有が出来るよう取り組んでいきたい。また、面談や計画作成時以外でも、ご家族や本人のニーズをヒアリングできるような方法を考えていきたい。
3	職員間での支援の統一	毎日の利用児の特記や注意事項を書式で共有、また、その支援上で起こった事柄などは随時、話し合いを行い、その書式をバージョンアップしている。 個別支援計画に沿って記録を記入できるよう、各個人ファイルの個別支援計画書の横に記録用紙を配置。常に計画を意識できるようにしている。	随時の話し合いの他、会議形式で各職員の意見や考えを吸い上げ、支援に関する情報や方向性を整えていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	会議や研修に全ての職員が参加できるような取り組み	会議や研修を、限られた時間の中で日程を決めて行っている。 パート職員のシフトによっては参加できない事が続いてしまう事がある。	同じ内容の会議や研修を複数回行うなど。 出来ない時は、議事録の閲覧の徹底と、しっかりと伝わっているかの効果測定を行うなど。
2	職員不足	送迎が重なったりした時に人手不足を感じる事がある。 空間の広さゆえに配置人数が必要になる。	人材募集を継続していくとともに、現在いる職員間の連携を徹底することと、各職員の支援力の向上を目指していきたい。
3	ご利用者や家族からのより細かなヒアリング	計画作成時などのヒアリングが主で、事務的、形式的になってしまっている。	計画作成時などの定期のヒアリングや面談時以外にも、個別の時間や場を設けていく。また、意見や話しをしやすいような方法も考えていきたい。 日常的な連絡アプリも、より活用し、日常からのヒアリングが出来る体制を整えていきたい。